

平成 26 年 4 月 16 日

計算プログラム 修正点 ( Ver.1.11 → Ver.1.12 )

下記の修正を行いました。

1. 「熱交換」タブの注意書き「熱交換型換気を採用する場合」の文言を以下のように修正しました。

(修正前)

熱交換型換気を採用する場合は換気設備の方式に「ダクト式第一種換気設備」または「壁付け式第一種換気設備」の選択が必要です。

また、次の条件を満たす必要があります。

- ・有効換気量率 85%以上
- ・温度交換効率 65%以上 または 補正温度交換効率 58.8%以上

(修正後)

熱交換型換気を採用する場合は換気設備の方式に「ダクト式第一種換気設備」または「壁付け式第一種換気設備」の選択が必要です。

また、次の 1 または 2 の条件を満たす必要があります。

1. 有効換気量率 85%以上 かつ 温度交換効率 65%以上
  2. 補正温度交換効率 58.8%以上
2. 「HOME」タブの入出力に関する項目を、「クリア」「中断」「再開」「様式」から「クリア」「保存」「読込」「出力」に変更しました。
  3. 給湯熱源機の「ふろ機能の種類」について、予め選択されている項目を「給湯単機能」から「ふろ給湯機（追焚あり）」に変更しました。
  4. 電気ヒートポンプ給湯機の効率について従来の「JIS 効率」のみの選択方法に新たに「効率の入力」の「入力しない」を追加しました。
  5. コージェネレーションの種類に PEFC6 を追加しました。
  6. 計算結果の詳細（計算結果「詳細」をクリックして表示されるポップアップ画面「省エネルギー性能等の詳細」）について表示方法を変更しました。
  7. 「給湯熱源機の種類」に「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯機（ダブルハイブリッド）」を追加しました。
  8. 「温水式暖房を設置する場合」の「熱源機の種類」に「ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型暖房機」を追加しました。

